

## 幡羅高等小学校由来記

本校は明治二十一年四月旧幡羅郡全域の十一聯合五十九村を区域とし、此処弥藤吾村観清寺に設立された。翌二十二年町制の施行により一部学区に変更あり、二十五年郡長管理から妻沼村八村学校組合に移る。

往時、小学校は尋常高等の二等に分かれ各四年の修業年限で尋常を義務制 高等小学は授業料を徴した。

当校の校風大いに振るい、就学が逐年向上した為、三十三年 次いで三十六年に校舎を増築した。

折しも明治四十二年義務制延長により二年生の本幡羅高等小学校に改まり、四十四年各村小学校に高等科併置に伴い、二十三年に亘る光輝ある学府の歴史を閉じた。此の間良師の誉高き新井、河井、掛川三代校長の薫陶を受けた子弟は、一千数百余 中に宮本、石坂、綾川、井田の四代議士を初め、数多有為の人材を輩出し、今なお幡羅郷に勤勉向学的美風を残す。

実に本校が齎した地域への貢献は特筆大書に値する。偶々本校開設百周年を機に、郷閥相謀り、校舎跡に碑を建立して史蹟の保存を図る。

並びに愛郷有志の誠意と尽力を称え本校の由緒を刻して永く後世に伝える。

昭和六十三年四月十七日

幡羅学校開校百周年記念碑建設委員会

撰文 妻沼町助役 高橋 茂

(妻沼町長 増田一郎書)